

杉花粉症に対する“危険な治療”について

インターネット等で、副腎皮質ホルモン（ステロイド）を、注射する治療が紹介されました。

副腎皮質ホルモンを全身的に投与・注射する事はその副作用のために、特別な病気以外は行うべきでないというのが医学常識です。

花粉症にステロイド（薬品名・ケナコルト）を注射する治療方法は、良識的な医師のする事ではありません。

厚生労働省も、この問題を重視して、この薬品のメーカーに使用不可の勧告を検討しております。

画期的な医療には、例え効果があっても危険があるという事をご理解下さい。

副腎皮質ホルモンの副作用

胃潰瘍を悪化させる

細菌感染に弱くなる

眼の病気を悪化させる

等々

矢野耳鼻咽喉科 医学博士	藤沢市善行 1-25-11 日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本耳鼻咽喉科学会専門医	8 1 矢野 矢野 矢野	3 5 4 1 潮 ゆかり さゆり
-----------------	---	-----------------------	----------------------------